



「新年度のあいさつの代わりに」

会長の磯部です。

今回の原稿は新年度のあいさつではなくて、  
県連の DoSaDo パーティの責任者としての、仕事の話をしようと思います。  
DoSaDo パーティでの私の仕事は、会場の確保です。  
私が DoSaDo パーティにかかわったのは、まだ文化体育館のころでした。  
県のレクリエーション協会から文化体育館に空きが出来たので、  
借りてくれないかという話が合ったので、7月上旬の日曜日なら DoSaDo パーティなら、  
使えと県に話を持って行ったのでした。  
会場費は30万円ぐらいだと記憶しています。  
土日の会場費は高く、割引なしだと、それと冷房費を加えると、50万円を超えてしまいました。  
3回目の DoSaDo パーティまでは、割引なしで払い4回目から、7割引きの会場費になりました。  
会場費が7万円台しかし現在武道館では、冷房費が10万円かかります。  
割引きが成功したのは、レク協会の会長から、体育協会の会長に県スクエアダンス連絡協議会が、  
非営利団体であること、経理運営がしっかりして入りことを説明してもらったからです。  
ヨコハマサニーコーストは以前文化体育館を借りようとしたことがありました。  
この時は横浜ランドマークホールでは収容しきれなくて、1000人以上の会場を探したのですが、  
申し込みを受けてはくれたのですが、落選しました。担当した人には申し訳なかったと思います。  
あとで聞いたところ、年間スケジュールがほぼ決まっていて、他から割り込むことはできない状態だったようです。

「念願かなって」

副会長：宮内洋治

2年かかったが念願かなって役員1名体制がスタートした。  
私が入会した20年ほど前には80名近くいた会員が現在では50名を切り、  
今後も高齢化が進み減少傾向が続いていくと予想されクラブの運営体制もそれに見合う形に変えていくべきではないかと…。「一人では心配、相談相手が欲しい」という意見もあったが、最終的には1名体制を理解していただいた。  
一人だと責任が重くなるかもしれないが、そこはサポートメンバーの協力を得て乗り切っていただければと思う。

今年は珍しく県連や市連の行事が土曜日を外れ例会を休むことがなくなり、  
初心者講習には絶好の条件となる。応募者が現れることを願って！

総務係：味見ゆかり

どんなお仕事かもわからずに引き受けてしまいましたが、先輩方にご指導いただきながら責任を持って務めたいと思っていますどうぞよろしくお願ひいたします

会計：秋元裕子

『今年度会計を担当する秋元です。わからない事も多々ありますが皆様の大切な会費ですのでしっかりと役目を務めて行きたいと思ひます。一年間よろしくお願ひいたします。』



# SQUARE DANCE

会場係：斎藤勝義

今年度、会場係役員を務める事になりました斎藤勝義です。会場係の主な仕事は、例会場の確保、会場の管理等、新しいシステムにも戸惑い責任重大と緊張しています。幸い前回の役員の方々が面倒な手続きを、完了してくれていたお陰で会場の申し込がスムーズに行えます事に感謝～そして宮内さんのご尽力で戸部ケアプラザが定期的に使用出来ています。有難うございます。会場係は勿論、会員皆様の協力無しでは例会を続けてゆく事は出来ません。今後共楽しい例会にしていく為にご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

広報係：清水秀子

2025年度 広報役員を担当する清水秀子です。役員改正で各係1名づつになり少し心細いですが会員皆様の投稿が一番心強いので協力よろしくお願ひいたします。

行事係：矢島敏子

令和25年度「サニーコースト」行事係として五月と八月に特別例会を予定致しました。十二月のクリスマス例会も楽しみのひとつです。

例会にも変化をつけたいのと、他のクラブのアニバサリーパーティ等に参加されない方々でもいつもと違うコールを聞けるのはいいのではと、

若手のコーラーさんや女性のコーラーさんをゲストにお招きする事にいたしました。

どんなコーラーさんが来てコールをして頂けるのか楽しみにして下さい。

県連や市連の行事にも皆さんの参加をまっています。

楽しい例会にみんなで行きましょう 協力よろしく願いいたします。

ビギナー：八子三枝

今年度のビギナー係を担当いたします。

「係」として岸さん鈴木さんと相談しながら、多くのビギナーの方に来ていただける様に、準備したいと思っております。

会員の皆様のお知り合いの方々に声をかけていただく等ご協力をよろしく願いいたします。



2024 クリスマス例会 & Photo 雀

「山下公園のベンチにて、お決まりの元町ウチキパン潮風のランチタイム、足元に落ちたパンを啄みに来た何と可愛らしい雀のフォト・・・・・・・・」

お詫び

ページの関係で、山田 隆夫さんの原稿を編集後記後の掲載に成ってしまいました。原文のまま掲載しました。

編集後記

役員一人体制、発足初年度の各役員の抱負を載せました。  
一年間会員みんなで協力しあって楽しい例会にしましょう！！

# 楽しくスクエアダンスを！

山田 隆夫

コロナウイルスが蔓延する以前、スクエアダンスの会員数を15,000人にする目標を掲げていたが、残念ながら現在の会員数は10,000人を割っているのが現状です。

ワクチンが投与され爆発的な感染は少なくなりましたが、各クラブともコロナの感染により肉体的にも精神的にも病んだりして、休会や退会された方たちも多く、また高齢化も後押しをしているように思います。

元気な新しい会員を増やしていくのはとても大切な事ですが、それには活動している私たち会員が皆元気でいなければなりません。

ところで、昨年朝日新聞に89歳になる女優の小山明子さん(夫は故大島渚監督)の記事が掲載されていました。(読まれた方もいらっしゃると思いますが……)

『か・き・く・け・こ』という言葉が大切にされているそうです。

- |               |               |        |
|---------------|---------------|--------|
| (か) 感謝(ありがとう) | (き) 興味        | (く) 工夫 |
| (け) 健康        | (こ) 好奇心と転ばぬこと |        |

特に大島 渚監督はリハビリに行く際など、何かにつけて『ありがとう』を欠かさなかったそうです。

『私が気持ちよく最後までお世話できたのはそのお陰です』と書かれていました。

とても単純で優しい言葉ですが、最近では若い人より大人達(特に高齢者)の方が、して貰って当たり前という行動が多いように思います。

(こ)の『転ばぬこと』については元会員のSさんからいただいた手作りの『テントウムシ』のブローチを常に身に着けるようにしています。

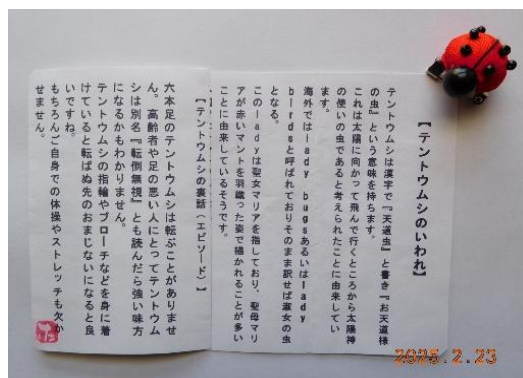
お礼に『テントウムシのいわれとエピソード』を書いた自作の小文を差し上げました。

余談ですが、私がバスに乗っていた時、2歳くらいの坊やが私の帽子に付けているテントウムシのブローチをじ〜っと見ているので、坊やのお母さんが『テントウムシよ!』と教えていたので、“これはテントウ〜ムシ(転倒〜無視)です”と言うとお母さん

し間を置いてにっこり!?

こんな事もありました。

少し脱線しましたが、スクエアダンスを楽しく踊りたです。体を動かすだけでなく、笑顔とコミュニケーションを健康を保つ秘訣だそうです。



んは少

いもの  
ンが健

『笑う門に福来る』(笑門来福・由来はお正月の遊びと知られる「福笑い」です)

ピアニストの“フジコ・ヘミング”さんも言っています。

『間違えたっていいじゃない、機械じゃないんだから!』

スクエアダンスは8人の気持ちが大切です。皆がつなげて最後は笑顔で終えたいものです。